

富士見

令和7年度(第33号) 令和7年7月1日
発行元:山梨県立富士見支援学校本校・旭分校

本校所在地:甲府市富士見一丁目1-1

TEL:055-252-3133 Fax:055-252-6167

E-mail:fujimi-yg@kai.ed.jp URL:https://www.fujimiy.kai.ed.jp

旭分校所在地:韮崎市旭町上條南割3314-13

TEL:0551-22-7144 Fax:0551-22-7143

E-mail:fujiasa-yg@kai.ed.jp URL:https://www.fujiasay.kai.ed.jp

可能性の扉を開く

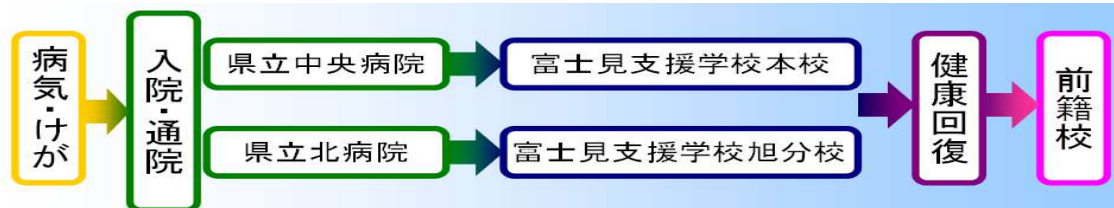
校長 雨宮 靖子



富士見支援学校は、甲府市にある本校、韮崎市にある旭分校のそれぞれが県立中央病院、県立北病院に併設され、病気等により継続的な医療や生活上の管理が必要な児童生徒に対し、小・中学校に準じた学習指導を行う特別支援学校です。当校では、個別の教育的ニーズや学びの特性に合わせ、基礎的・基本的な学力の定着とともに、学びに向かう力や意欲、社会性の育成を目指したさまざまな教育活動を行っています。また入院加療中の児童・生徒に対しては、小・中学校に学籍を置いたまま在籍校と連携した指導を行い、入院による学習空白を補完しています。令和7年4月1日より、入院期間中に当校の教員から受けた学習について、一定の条件の下、在籍校の指導要録上の出席扱いとする手続きをとることができるようになり、入院中も学習の遅れや欠席日数を気にせず、安心して心身の健康の回復を図ることが可能になりました。さらに当校は、山梨県内における病弱教育のリーディングスクールとして、それぞれの学校が自校において特別支援教育を推進する体制整備の支援を行っています。特に山梨県教育委員会のインクルーシブ教育推進事業の一環と位置づけられた病弱専門部特別支援連携会議では、同会議発足以来事務局を務め、大学教授、小児科医、精神科医などの助言を受けながら、県内病弱教育の課題の把握や、県内の病弱支援学級等担当者間のネットワーク形成を図っています。

すべての子どもたちが持つ大きな可能性。当校はその可能性の扉を開く豊かな人間性と確かな学力を育む教育に日々取り組んでいます。引き続き、当校の教育活動に対するご支援とご協力をお願いいたします。

○富士見支援学校への転入・前籍校への復学について



県立中央病院・北病院で加療している小・中学生のうち、医師が富士見支援学校での教育が望ましいと判断し、本人及び保護者から希望があった場合、富士見支援学校へ転入となります。また病状が回復し前籍校への通学が可能になれば、医師の診断のもと、小・中学校へ復学することとなります。

富士見支援学校Q & A

Q:どのような教育が行われているのですか？

A:基本的に小・中学校に準じた教育を行います。病状によっては、学校に慣れることに主眼を置き、子どもの興味関心に合わせた題材で学習を進めていくこともあります。もとの学校と連絡を取り合いながら、それぞれのペースに合わせた教育を行っています。

Q:授業料などは必要ですか？

A:必要ありません。個人活動費・教材費等の集金はあります。

Q:卒業はどうなりますか？

A:基本的に本校では入学式・卒業式は行いません。卒業式直前まで本校へ通学していても、学籍は前籍校へ戻します。卒業証書は在籍していた地元の学校で受け取ることになります。進路指導は、もとの学校の先生方と連絡を取り合いながら行います。富士見支援学校に在籍したほとんどの生徒が高校に進学しています。

本校の紹介

富士見支援学校本校について

富士見支援学校本校は、病気やけが等で県立中央病院に入院又は通院している小・中学生が学習の遅れで困ってしまうことがないように、授業を受けることができる学校です。

入院している小・中学生は、病院と廊下続きの学校に登校して授業を受ける他、病状や治療の段階に応じて、病室と教室をICT機器でつないだリモートでの授業があります。また、スムーズな復学をめざし、学習の対応だけではなく、入院中や退院後の不安や緊張についても丁寧に話を聞いたり相談にのったりしています。

通院している小・中学生は、県立中央病院の小児科や精神科等の主治医の指示を受けた場合、通学することができます。病気やけが、心因性疾患、人間関係のつまずきからくる環境への不適應など、個の状況に応じた学習を行っています。学習空白を補い、気持ちのサポートを行う中で、明るさや自信を取り戻し、もとの学校に戻ったり、卒業後の進路に向けて自発的に歩みだそうとしたりする意欲を高めています。

教育課程

週あたりの授業時間数です。入院生・通院生どちらの場合も、小・中学校に準ずる教育課程で学習します。また、特別支援学校の教育課程で特別に設けられた「自立活動」の中で、個々のニーズに応じた指導も行っています。

小学部

学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	道徳	特別活動	総合的な学習	外国語活動	自立活動	合計
1年	8		4		3	2	2		2		1	1			2	25
2年	8		5		3	2	2		2		1	1			2	26
3年	7	2	5	2.6		1.7	1.7		2		1	1	1	1	2	28
4年	7	2.6	5	3		1.7	1.7		2		1	1	1	1	2	29
5,6年	5	3	5	3		1.5	1.5	1	2	2	1	1	1		2	29

中学部

学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	道徳	総合的な学習	特別活動	自立活動	合計
1年	4	3	4	3	1	1	2	2	4	1	1	1	2	29
2年	4	3	3	4	1	1	2	2	4	1	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	2	1	4	1	1	1	2	29

☆☆学習の様子☆☆



《小学部：授業の様子 理科》



《小学部：校外学習》



《中学部：授業の様子 数学》



《中学部：授業の様子 家庭科》



《学園祭の様子》



《中学部：宿泊学習》



《中学部：授業の様子 理科》

旭分校の紹介

富士見支援学校旭分校について

心因性疾患や人間関係のつまずきからの不適応等により、県立北病院に入院又は通院している小・中学生が、治療を受けながら学ぶ学校です。そして、小・中学校に準じた教育課程で学習します。自立活動を中心にした初期段階、クラスに入って少しずつ集団や日課に慣れていく適応段階、通常の日課表に沿って主体的に活動する通常段階とそれぞれの実態に応じた指導を行っています。



教育課程

小学部の4教科（国語、社会、算数、理科）と中学部の5教科（国語、社会、数学、理科、外国語）は、学習空白に対する不安の解消や自信の回復をねらいに、一人一人の実態に合わせた内容を学年ごとの小集団で行っています。技能教科は個々の実態に応じて学部全体で取り組んでいます。

総合的な学習の時間は、宿泊学習などの行事に向けた取組、興味関心をもとにテーマを決めて行う調べ学習等に取り組んでいます。



保健体育では、週4回行っている授業の他に、月1回程度ロング体育を行っています。各単元のまとめとして、ゆったり時間を使ってゲーム的活動に取り組んでいます。

自立活動は、個々の目標に向かって教育活動全体で取り組みます。週1回担任と個別に話をしたり活動したりする時間があります。また、集団での自立活動としてふれあい活動を行っています。人とつながる楽しさを味わったり、係活動を経験したりすることを目的に、学部全体で様々な活動を行っています。

小学部

学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	外国語	道徳	外国語 活動	総合的 な学習	特別 活動	自立 活動	合計
1.2年	8		4		3	1	1		3		1			1	4	26
3.4年	6	2	5	2		1	1		3		1	1	2	1	4	29
5.6年	5	2	5	2		1	1	1	3	1	1		2	1	4	29

中学部

学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	外国語	道徳	総合的 な学習	特別 活動	自立 活動	合計
1年	4	3	4	3	1	1	3	1	3	1	1	1	4	30
2年	4	3	3	3	1	1	3	1	4	1	1	1	4	30
3年	3	3	4	3	1	1	3	1	4	1	1	1	4	30

☆☆学習の様子☆☆

【美術（デカルコマニー）】

1970年大阪万博のシンボルである『太陽の塔』を作成した故・岡本太郎氏の名言「芸術は爆発だ」をテーマに、生徒自身の「美術とは○○だ」ということを考えました。「表現」「希望」「僕らの未来」など、非常に想像力豊かな回答がありました。その木に咲く花は、美術の技法『デカルコマニー』を使用しました。またその答えを、葉として色紙を切り抜き記入し、旭分校の美術の木を作成しました。



【ふれあい活動「☆中3プレゼンツ☆ドキドキ！ワクワク！チーム対抗戦！」】

学校全員で取り組む活動にふれあい活動があります。1回目のふれあい活動は中3の生徒が企画し、この4月に着任された先生方や児童生徒に関するクイズからスタートしました。「人生で一番美味しかったものは？」「好きなアニメのキャラクターは？」などの質問の答えを、チームごとに話し合い4択から選びました。平成の時代に人気があったクイズ番組を彷彿させるような演出も楽しく、大変盛り上がりました。ビーチバレーボールは、3チームに分かれ、総当たり戦を行いました。ボールがつながるように声をかけたり、励ましたりするなど張り切って活動していました。また、ボールとともに心もつながっていく様子が見られました。



富士見は支援します！

子どもたちの笑顔のために…

富士見支援学校本校と旭分校は、病弱特別支援学校として、慢性疾患や心因性疾患を持つ幼児、小学生、中学生、高校生が病気を抱えつつも、いきいきとした学校生活を送れるように、お子様、保護者、学校の先生からの相談に応じ、援助支援や情報提供を行います。

教育相談では、電話相談や来校相談を通して、お子様や保護者それぞれの困り感をうかがい家庭や学校で過ごしやすいよう支援します。訪問支援では、学校の先生からの電話相談から開始し、実態を捉える視点や病状、児童・生徒の困った感に応じた具体的な支援や教育的対応について、学校の先生方と一緒に考えます。相談内容についての秘密は厳守いたします。

お子様のことで気がかりなことがありましたら、お気軽にご相談ください。

保護者の皆様へ

このような困りや悩みに対応します。

- ◆病気や困りを抱えながら学校に行くのに不安がある。
 - ◆頭痛や腹痛で学校に行けない。
 - ◆夜眠れない、朝起きられない。
 - ◆不安や緊張が強く、クラスに入れない。
 - ◆友達や先生との関係で悩んでいる。
 - ◆やる気が出ない、学習に集中できない。
- この他何でも結構です。

まずはお電話ください

- ・電話相談、来校相談に対応します。
- ・確実にお話をうかがえるように、ご都合のよい日時の相談をさせていただきます。

学校の先生方へ

○電話相談

学校だけで抱え込まずにお電話ください。

○訪問支援 園や学校にうかがい授業観察を行った上で、支援や指導を一緒に考えます。

○研修支援 内容をご要望に応じます。

◆幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校の先生方なら私立公立を問わず対応します。

◆病弱教育をはじめとする特別支援教育に係わる子どもの理解や今後の支援に関するアドバイスや研修支援に応じます。

◆「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等の作成のアドバイスから進路指導に関する相談にも応じます。

◆関係機関との連携に関するアドバイスや情報提供に応じます。

学校見学等の希望については、まずお電話ください。

相談はこちらへ



富士見支援学校 本校

ホームページ



担当： 相談支援部
住所： 甲府市富士見一丁目1-1
電話： 055-252-3133
Eメール： soudan@fujimiy.kai.ed.jp
ウェブサイト： https://www.fujimiy.kai.ed.jp

○県立中央病院加療中の方は県下全域
○加療していない場合の支援地域
甲府市、山梨市、笛吹市、甲州市、甲斐市、中央市、昭和町



富士見支援学校 旭分校

ホームページ



担当： 相談支援部
住所： 韮崎市旭町上条南割 3314-13
電話： 0551-22-7144
Eメール： fujiasa-yg@kai.ed.jp
ウェブサイト： https://www.fujiasay.kai.ed.jp

○県立北病院加療中の方は県下全域
○加療していない場合の支援地域
北杜市、韮崎市、南アルプス市、市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町